

2 水浴場に係る水質判定基準

判定については、下記の表に基づいて以下のとおりとする。

(1) CODが2mg/ℓ以下で、ふん便性大腸菌群数100個/100ml以下で、油膜が認められず、透明度が全透ものを「適」な海水浴場とする。

(2) CODが8mg/ℓ以下で、ふん便性大腸菌群数が1,000個/100ml以下で、かつ、常時油膜が認められず、透明度が水深1m未満、50cm以上のものを「可」な海水浴場とする。

(3) CODが8mg/ℓ以上で、ふん便性大腸菌群数が1,000個/100ml以上で、又は常時油膜が認められ、又は透明度が50cm未満のものを「不適」な海水浴場とする。

(4) 「適」又は「可」な水浴場について、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD及び透明度によって、「水質AA」「水質A」「水質B」あるいは「水質C」を判定する。

- ・各項目の全てが「水質AA」である海水浴場を「水質AA」（水質が特に良好な海水浴場）とする。
- ・各項目の全てが「水質A」以上である海水浴場を「水質A」（水質が良好な海水浴場）とする。
- ・各項目の全てが「水質B」以上である海水浴場を「水質B」とする。
- ・これら以外のものを「水質C」とする。

区 分	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	C O D	透 明 度
適	水質AA 不検出 (検出限界2個/100ml)	油膜が認められない	2mg/ℓ以下	全透 (水深1m以上)
	水質A 100個/100ml以下	油膜が認められない	2mg/ℓ以下	全透 (水深1m以上)
可	水質B 400個/100ml以下	常時は油膜が認められない	5mg/ℓ以下	水深1m未満～ 50cm以上
	水質C 1,000個/100ml以下	常時は油膜が認められない	8mg/ℓ以下	水深1m未満～ 50cm以上
不 適	1,000個/100mlを超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/ℓ超	50cm未満

(注) 判定は、同一海水浴場に関して得た測定値の平均による。

なお、「不検出」とは、平均値が検出限界未満のことをいう。